

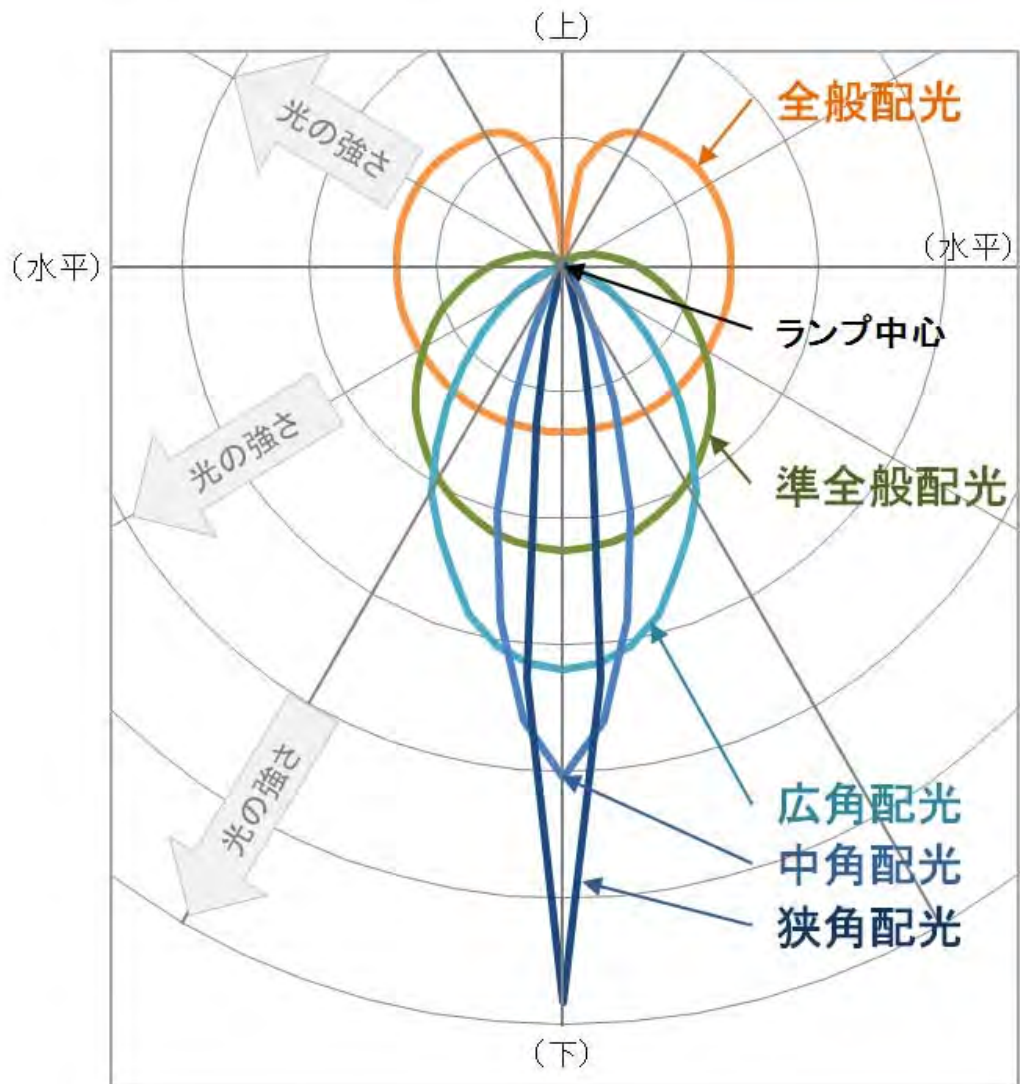
# 光の広がり方(配光)と使い分け

区分 (形式の例)	光源の例	主な使い方・効果
<b>狭角配光形</b> 形式例:LDR4N-N		主にスポットライトやダウンライトに使用 狭い範囲(2m程度の距離から直径50cm程度)を 照明する場合 <sup>注)</sup> に用いる。
<b>中角配光形</b> 形式例:LDR4N-M		主にスポットライトやダウンライトに使用 中程度の範囲(2m程度の距離から直径1m程度) を照明する場合 <sup>注)</sup> に用いる。
<b>広角配光形</b> 形式例:LDR4N-W		主にスポットライトやダウンライトに使用 広い範囲(2m程度の距離から直径3~4m程度)を 照明する場合 <sup>注)</sup> に用いる。
<b>準全般配光形</b> 形式例:LDA8L-H (右図)		床面や机上面全般を照明するダウンライトなどに 用いれば、光の損失が少なくて効率的に照明でき る。
<b>全般配光形</b> 形式例:LDA8L-G		室全体(床・壁・天井)を照明する照明器具に用い れば、一般照明用電球や電球形蛍光ランプとほ ぼ同じ効果が得られる。

注) 周囲より明るく目立たせるには、周囲の2~3倍以上の照度が必要です。

# 配光図(光の広がり方)の説明

図中の曲線は、ランプ中心から各方向(上下左右)への光の強さ(光度)を示したものです。  
例えば、全般配光は光が各方向にほぼ均等に、狭角配光は下方方向に集中していることを表しています。



## ◆ 全般配光形

口金上方鉛直点灯時の下方光度の1/2の範囲が180度以上



## ◆ 準全般配光形

口金上方鉛直点灯時の下方光度の1/2の範囲が90度以上180度未満



## ◆ 狭角配光形

口金上方鉛直点灯時の下方光度の1/2の範囲が15度未満

## ◆ 中角配光形

口金上方鉛直点灯時の下方光度の1/2の範囲が15度以上30度未満

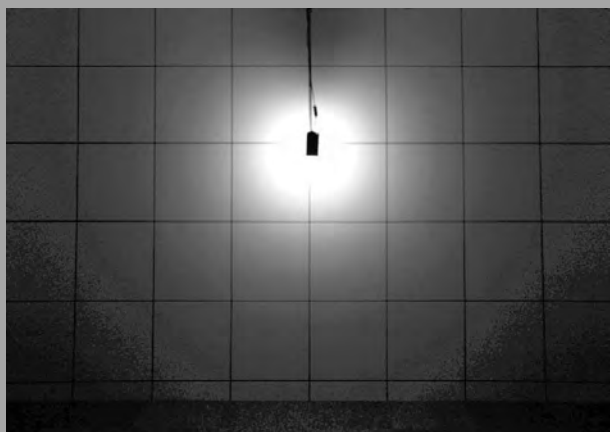
## ◆ 広角配光形

口金上方鉛直点灯時の下方光度の1/2の範囲が30度以上90度未満

## 配光のイメージ写真

全般配光形 形式例:LDA8L-G

(一般照明用電球)



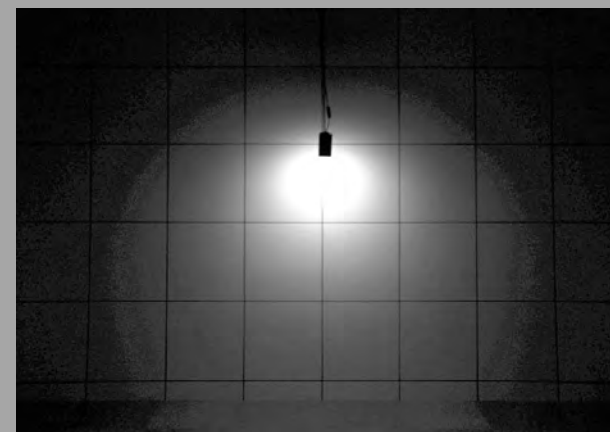
全般配光形 形式例:LDA8L-G

(電球形蛍光ランプ)



準全般配光形 形式例:LDA8L-H

(電球形LEDランプ)



広角配光形 形式例:LDR4N-W



中角配光形 形式例:LDR4N-M



狭角配光形 形式例:LDR4N-N



## 光の広がり方(配光)の比較

一般照明用電球と電球形蛍光ランプとは、全般に光が出ており、電球形LEDランプは下方向主体に光が出ている。



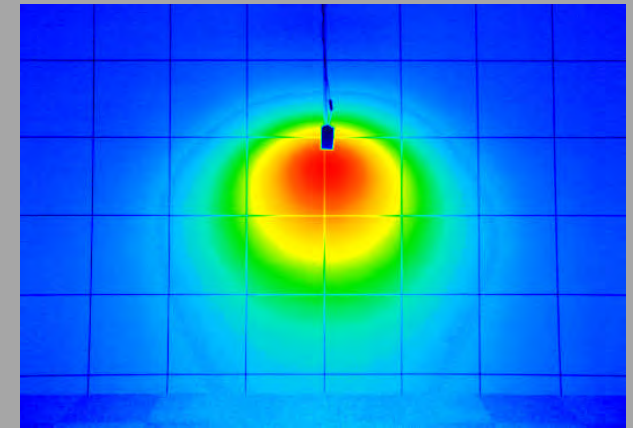
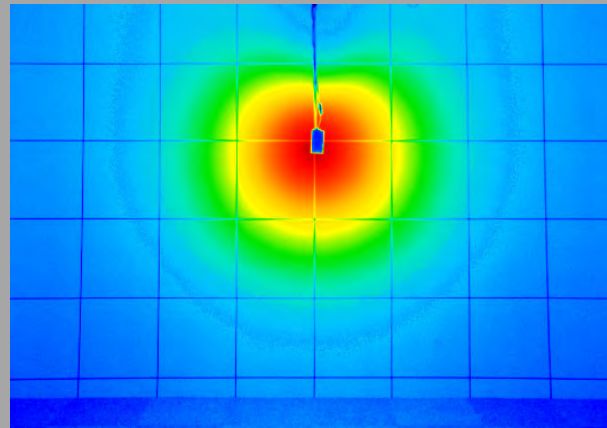
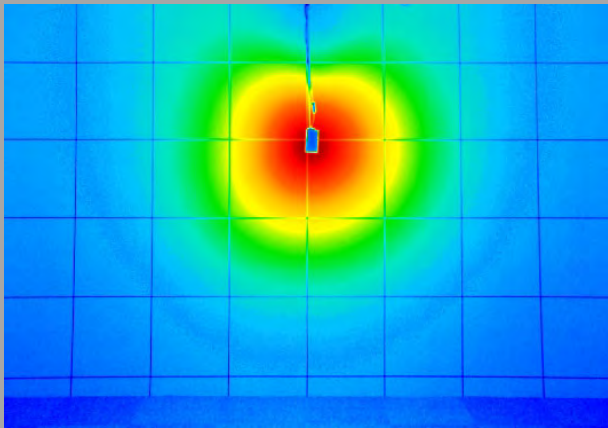
一般照明用電球



電球形蛍光ランプ



電球形LEDランプ



## 輝度分布(壁の輝き・明暗の分布)

輝度の「高→低」(明暗)を「赤→黄→緑→青」の順序で表示、電球形LEDランプは下方向を明るく照らし出している。